

安全な道路環境をめざして
SAFETY FOCUS

右折車両の通過速度が比較的高い交差点

「SAFETY FOCUS」は、Honda が公開している「SAFETY MAP」に示される交通上の危険が潜むスポットに足を運び、現場の交通環境と事故防止について考察する連載記事です。

「SAFETY MAP」には「みんなの意見」として一般投稿された危険スポット情報が地図上に表示されている。今回「FOCUS エリア」(下記参照)に取り上げるのは、福井県内で6人の方が「みんなの意見」を投稿している「大名町」交差点だ。ここでは、スピードが出ているクルマが多いなどの投稿が寄せられている。また、この場所では、平成 27 年中に四輪車対四輪車の事故が 2 件、四輪車対自転車の事故が 4 件、四輪車対歩行者の事故が 1 件発生している。

●この地点で発生した事故件数

四輪車対四輪車	右折直進	1 件
	追突	1 件
四輪車対自転車	出会い頭	1 件
	左折時	1 件
	右折時	2 件
四輪車対歩行者	横断中	1 件

※平成 27 年中 福井県警提供

●「SAFETY MAP」みんなの意見

スピードが出ているクルマが多い	4 人
特に駅方向への右折時、見通しが悪い	2 人

※平成 28 年 3 月 31 日時点



現場をたずねる

FOCUS エリア
福井県福井市「大名町」交差点

今回訪れた「大名町」交差点は JR 福井駅西側にある、福井市内でも交通量の多い場所の 1 つで、南北のフェニックス通り(県道 30 号および県道 5 号)と東西の中央大通り(県道 5 号および県道 11 号)が交わるほか、福井駅へとつながる片側 2 車線の道路も接続する変形 5 差路だ。

現場を訪ねた平日朝 7 時は通勤車両や駅からの路線バス、路面電車が行き交っており、福井駅や通勤先に向かう歩行者と自転車利用者も見られた。特に地図上 **A** から **E** への右折車両が多いため、右折専用レーンが 2 車線設けられている。右折後の **E** は 3 車線だが、朝のラッシュ時間帯は通行量が多いため、交差点内に車両が留まってしまうことがあった。

B と **E** にも右折専用レーンがあり、路面電車の軌道と並行している **B** から **A** への右折専用レーンは直進車線の延長に設けられているため、右折待ちの車両があると、後続の直進車両は車線変更をすることになる。そのため、**B** の停止線付近でクルマの流れがしばしば滞ることがあった。

交差点内が広いので、右左折した先の横断歩道までの距離が長くなり、高いスピードのまま横断歩道を通過する車両が多く見られた。



E から東方向に右折した場合、路面電車の軌道があるため、通り慣れないドライバーは **C** と **D** のどちらに向かうかわかりにくい



1 青の点滅信号で横断歩道に進入した自転車に気づかず通過するクルマ



2 右折待ちのクルマを避けようと、車線を変更して直進する後続のトラック



3 2 車線ある **A** の右折専用レーンの通行量が多いため、曲がった先の **E** に車両が留まってしまうこともあった

交差点への強引な進入は周囲の通行を妨げる

A で右折待ちをしている車両は、対向車線の様子を伺いながら通行の切れ目で右折をする。ところが、通勤時間帯で先を急いでいるせいか、強引な運転を目にすることもあった。最も危険だったのは **C** から路線バスが進入する際、その目前を **A** からの車両が通過した場面だ。また、**E** で右折待ちをしている車両が路面電車の軌道内に停車してしまい、進行を妨げている場面が見られた。

横断歩道付近では、**E** から **A** に左折する車両は横断歩道への進入時に減速が不足し、歩行者の直前で急ブレーキをかけていた。自転車利用者も青信号が点滅してから横断歩道を渡ろうとしたり、斜め横断をする場面が散見された。

右左折車両は周囲の状況を十分に確認してから交差点内に進入するべきであり、横断歩道(自転車横断帯)手前で徐行を徹底してほしい。自転車利用者・歩行者は青信号が点滅したら横断を思いとどまることが安全の上で大切である。



C に設置された歩行者用信号機には待ち時間表示が設けられているほか、音声アナウンスで「間もなく信号が変わります。横断はやめましょう」「歩行者信号は青になりました。右、左を見て渡りましょう」と歩行者・自転車利用者の注意喚起を行っていた



交差点を通過する路面電車と車両の位置関係。軌道内に進入してしまう車両が見られた

時間帯を限定して右折車両と歩行者の分離

地図上 **E** の右折待ちのクルマの存在は後続車の急な車線変更(右車線→左車線)の原因となっており、追突事故の危険を誘発しているように思われた。路面電車の軌道があるため難しいが、右折専用レーンを増設することはできないだろうか。また、**A** から **E** への右折車両は青信号で右折することが可能だ。そのため、対向車線 **C** にクルマがない時は赤信号から青信号になると同時に右折を始め、スピードを出して右折した先の横断歩道に向かう。歩行者や自転車



E で右折車両を回避しようとする間に赤信号になってしまい、停止線を過ぎて止まってしまった初心者マークをつけたクルマ(写真手前)

転車が走り込んでくるような場面ではたいへん危険に見えた。朝の通勤時間帯だけでも矢印信号による右折車両と歩行者(自転車)の通行を分離できないだろうか。

「SAFETY MAP」のご活用・ご参加をお願いします!

ホンダ セーフティマップ

検索

<http://www.honda.co.jp/safetymap/>

「SAFETY MAP」は「みんなで作る安全マップ」です。Honda のインターナビが集めた日本中を走るクルマの急ブレーキ情報と、交通事故情報、そして皆さんの声で地図はつくられます。お手持ちの PC・スマートフォンからアクセスできますので、あなたの周囲に危険と感じることのある場所があったら、情報を投稿してください。